

伊達市第 3 次総合計画策定のための
「市民ワークショップ」の報告

令和 4 年 6 月

伊 達 市

目 次

I	「市民ワークショップ」の概要.....	1
	（１）実施の目的	1
	（２）グループの構成と参加メンバーの役割	2
	（３）スケジュール	3
	（４）第３次総合計画に掲載予定の各項目（暫定）	4
II	「今後力を入れるべき取組（目玉となる取組）」の提案.....	6

I 「市民ワークショップ」の概要

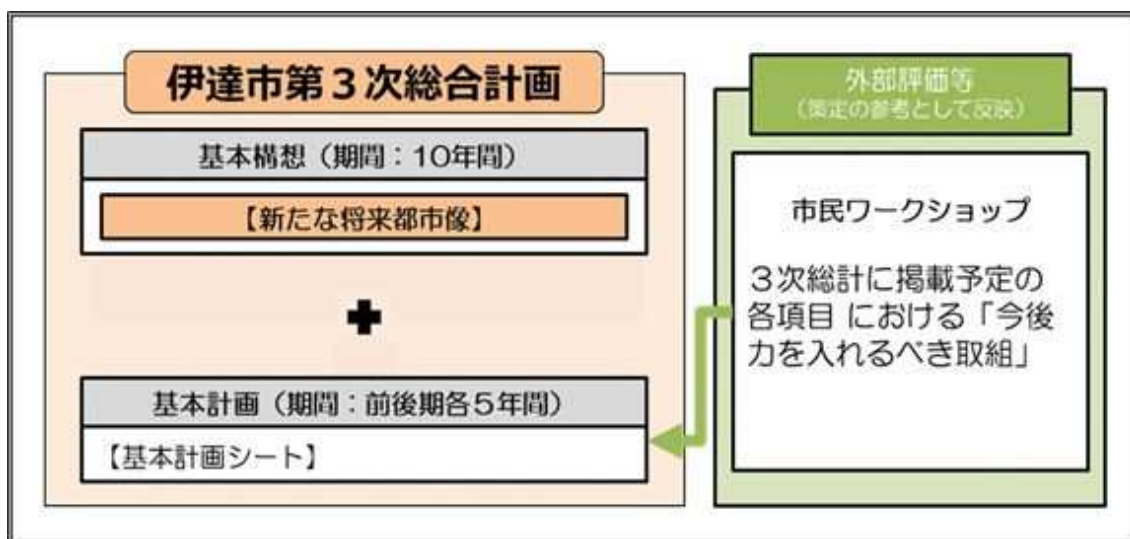
(1) 実施の目的

「市民ワークショップ」は、伊達市第3次総合計画（令和5年度～令和14年度）の策定にあたり、ワークショップの手法を用いて、市民の視点から、今後の伊達市のまちづくりにおいて力を入れるべき取組を考えてもらい、計画づくりの基礎資料（前期基本計画の「主要施策」の参考資料として活用することを想定）を得るために実施したものです。

「ワークショップ」とは

参加メンバーが、まちづくりや計画策定という共通目標の達成に向け、課題や情報を共有し、お互いの立場や多様な意見を尊重・理解し合いながら交流することにより、解決策や提案をまとめていくという参加・体験型の検討作業の場です。

「市民ワークショップ」の伊達市第3次総合計画への活用スキーム



(2) グループの構成と参加メンバーの役割

① グループの構成

参加メンバー全員が均等に発言できる機会を確保し、かつ活発な話し合いが行えるよう、各グループに分かれて検討を行いました。

各グループのメンバー構成

グループ	人 数	メンバー
A	4 名	A さん、B さん、C さん、D さん
B	4 名	E さん、F さん、G さん、H さん

② 参加メンバーの役割

各グループは、市民と事務局（総合政策課 2 ～ 3 名、コンサルタント 2 名）で構成し、各々の役割は下記のとおりとしました。

参加メンバーの役割

メンバー		役 割
市 民		○各項目の「今後力を入れるべき取組」の検討とワークシートへの記入 ○グループワークのとりまとめ・発表
事務局	総合政策課	○ワークショップ全体の司会進行 ○配布資料の作成・説明 ○グループワーク進行のサポート
	コンサルタント	○グループワークの司会進行 ○グループワークとりまとめのサポート

(3) スケジュール

「市民ワークショップ」は計2回の開催とし、参加メンバー全員の理解と共通の認識を図りながら、検討を進め、発表を行いました。

スケジュール

回 数	開催日時	目 的	概 要
第 1 回	令和4年 5月14日(土) 10時～12時	①「市民ワークショップ」の趣旨や進め方、全市的な現状・課題、各項目における市の取組概要と課題について、参加メンバー全員の共通認識を図る。	●メンバーの自己紹介 ●現行の総合計画の概要説明 ●市民ワークショップの趣旨・進め方・スケジュールの説明 ●全市的な現状・課題の概要説明 ●第3次総合計画に掲載予定の各項目における市の取組概要と課題の説明
		②第3次総合計画に掲載予定の各項目について、「今後力を入れるべき取組」を検討する。	●各項目の「今後力を入れるべき取組」の検討 (●第2回までに各自の意見をワークシートへ記入)
第 2 回	令和4年 5月21日(土) 9時～12時	③各自の意見をグループ内で共有し、グループで「目玉となる取組」を選出する。	●各自の意見の発表 ●グループ意見のとりまとめ ●グループ発表資料の作成
		④各グループで「目玉となる取組」を発表し、参加メンバー全員で共有する。	●グループ発表

(4) 第3次総合計画に掲載予定の各項目（暫定）

今回、「今後力を入れるべき取組」を検討し、とりまとめてもらった各項目（＝第3次総合計画に掲載予定の各項目）は、以下のとおりです。

第3次総合計画に掲載予定の各項目（暫定）

分 野	項 目
1 生活環境・基盤分野	1－1 環境保全（自然保護・地球温暖化防止・環境汚染対策・再生可能エネルギー等） 1－2 ごみ処理 1－3 上・下水道 1－4 公園・緑地 1－5 消防・防災 1－6 交通安全 1－7 防犯・消費者対策 1－8 住宅、定住・移住対策 1－9 道路・公共交通 1－10 情報化・デジタル化
2 保健・医療・福祉分野	2－1 保健・健康づくり 2－2 医療 2－3 高齢者支援 2－4 障がい者支援 2－5 地域福祉（地域における支え合い等）
3 産業分野	3－1 農業 3－2 林業・森林保全 3－3 商業 3－4 工業・企業誘致 3－5 観光 3－6 雇用対策
4 教育・文化分野	4－1 子育て支援 4－2 学校教育 4－3 社会教育 4－4 スポーツ 4－5 文化芸術・文化財 4－6 国内・国外交流
5 住民自治・行財政等分野	5－1 市民と行政との協働 5－2 男女共同参画 5－3 コミュニティ（地域自治組織） 5－4 行財政（行財政運営・公共施設・広域行政等）



Aグループ



Bグループ

Ⅱ 「今後力を入れるべき取組（目玉となる取組）」の提案

「市民ワークショップ」の成果として、各グループにおいて、項目ごとに「力を入れるべき取組（目玉となる取組）」をとりまとめ、市民による提案として発表してもらいましたが、その内容は以下のとおりです。

「今後力を入れるべき取組（目玉となる取組）」の提案

分 野	項 目	Aグループの提案	Bグループの提案
1 生活環境・基盤分野	1－1 環境保全	・ 太陽光発電及び蓄電池設備設置の補助、普及促進	・ 緑のカーテンの推進 ・ 蓄電池設備の普及促進
	1－2 ごみ処理	・ コンポスト及びディスプレイの利用促進 ・ ごみ集積所の整備	・ ごみ処理場見学会の実施
	1－3 上水道・下水道	・ 災害時における水道水の安定供給 ・ 合併処理浄化槽の普及	・ 水道料金の対策
	1－4 公園・緑地	・ 既存施設の有効活用 ・ 河川敷における大規模な公園の整備 ・ 地域公園の整備	・ 公園施設等のバリアフリー整備
	1－5 消防・防災	・ 消防団の機能強化、常備消防との連携強化 ・ 災害時における情報伝達機能の充実	・ 防災無線の改善、戸別無線の整備 ・ 消防団の意義と役割の周知
	1－6 交通安全	・ 歩道橋（国道4号）の改修 ・ 交通状況に対応した信号機の設置	・ シニアカーの安全確保 ・ 運転免許返納者に対する取組の支援 ・ 自動運転車等の新しい技術、時代への対応
	1－7 防犯・消費者対策	・ 地域における子ども見守り隊の整備 ・ 地域への消費者相談窓口の設置	・ 児童委員による児童及び生徒を対象とした相談体制の整備
	1－8 住宅、定住・移住対策	・ 空き家対策の推進	・ 空き家対策、移住者に対する支援充実 ・ 個性のあるまちづくり（高齢者及び障がい者とその家族が移住したくなるまち等）
	1－9 ①道路	・ 生活道路の維持修繕、除雪対策	・ 生活道路の適正な維持管理 ・ 生活道路のバリアフリー化
	1－9 ②公共交通	・ デマンドタクシーの利便性向上 ・ イオンバスとの連携	・ 伊達駅へのエレベーターの設置 ・ 阿武隈急行駅内へのコワーキングスペースの設置
	1－10 情報化・デジタル化	・ 高齢者等の情報弱者に対するスマートフォンの使い方などの支援 ・ 山間部におけるインターネット回線の整備	・ 高齢者等の情報弱者に対するインターネット講習会の実施

分 野	項 目	Aグループの提案	Bグループの提案
2 保健・医療・福祉分野	2-1 保健・健康づくり	・健幸都市づくりのさらなる推進 ・公園等へ健康遊具の設置	・健康意識の啓発 ・親子で楽しめる健康イベントの推進 ・働く世代における健康診断の受診促進
	2-2 医療	—	・既存事業の充実 ・山間部における医師等の後継者対策
	2-3 高齢者支援	・包括支援センターの活用方法のPR ・空き家のグループホーム等への活用	・介護予防の支援 ・在宅と施設介護のバランス ・高齢者施設入居者の心のサポート
	2-4 障がい者支援	—	・障がい者を地域で支える体制の整備 ・障がい者に対する偏見をなくす取組
	2-5 地域福祉	・地域での見守り体制の充実	・交流館の活用促進 ・住民参加型事業の創出
3 産業分野	3-1 農業	・農業法人化に対する支援 ・有害鳥獣の対策	・新規就業者への積極的な支援 ・農業法人化の支援
	3-2 林業・森林保全	・森林の適正管理	・森林について考えるサテライトスポットの設置 ・植樹イベントの実施
	3-3 商業	・国道4号の活用 ・新規出店者に対する支援の充実	・駐車場と公衆便所の整備 ・まちの駅の整備
	3-4 工業・企業誘致	・企業誘致の支援強化	・地場産業の支援
	3-5 観光	・市の目玉となる観光地の創出 ・廃校を利用した体験型施設の整備	・リピーターを増やす小型観光の推進 ・観光案内人の配置
	3-6 雇用対策	・企業誘致の支援強化 ・求職者に対する働き口の情報発信	・民間活力の利用
4 教育・文化分野	4-1 子育て支援	・緊急時における託児所の整備	・こども園のさらなる充実 ・子どもの貧困対策（子ども食堂、寺子屋等）
	4-2 学校教育	・小学校の統廃合、適正配置	・不登校及び外国人の児童・生徒に対する支援 ・学習用タブレットの充実、自宅学習の支援
	4-3 社会教育	—	・地域歴史の学習支援（養蚕業等） ・農業体験学習
	4-4 スポーツ	・大会が開催できる大型施設の設置	・総合型地域スポーツクラブの成否に期待
	4-5 文化芸術・文化財	・イベント等が開催できる大型施設の設置（スポーツ施設と併用可）	・梁川美術館の活用、充実
	4-6 国内・国外交流	・既存事業の周知、PR	—

分 野	項 目	A グループの提案	B グループの提案
5 住民自治・行財政等分野	5－1 市民と行政との協働	・ 既存事業の周知、P R	・ N P O や住民自治組織との連携と調整
	5－2 男女共同参画	・ 既存事業の周知、P R	・ 意識的に女性を組み込む支援の推進
	5－3 コミュニティ	・ 若年層がコミュニティへ参加しやすくなる雰囲気づくり	・ 住民自治組織に対する参加しやすくする雰囲気づくり ・ 各地域自治組織における運営の格差解消
	5－4 行財政	・ 施策・事業の選択と集中	・ 住民にも適切に興味を持ってもらうような行財政の運用の P R